

学校名	伊達郡川俣町立福田小学校	校長	神尾 孝弘
住所	伊達郡川俣町大字羽田字山ノ坊15番地		
TEL	024-566-2808	URL	<a href="http://www.town.kawamata.lg.jp/site/fukuda-sho">http://www.town.kawamata.lg.jp/site/fukuda-sho</a>

# 地域の中でのびる子どもたち

## ～自分たちの学びを地域に還元する～



### 取組の概要

本校では、「ふるさとを愛し、はつらつとした子どもの育成」を重点目標に掲げ、地域と一体となった教育活動を展開しています。各学年で、地域の皆さんの温かい支援を受けながら、人、もの、ことを通したふるさと学習が行われ、子どもたちの学びの幅を広げています。また、自分たちの学びを、地域のためにどう還元するかを考え、実践する活動を通し、これからの時代に必要となる資質・能力を地域と共に育てています。

### 内 容

#### 【地域との協働による学びの深化】

福田地区や川俣町内の皆さん、地元企業、町行政関係等から、専門的な支援や温かい協力を得て、子どもたちの学習が充実したものになっています。皆さんの多岐に渡る支援により、学校だけではできない体験活動や探究活動が実現されています。

様々な人との関わりの中で、子どもたちは、地域の実情や課題を見いだしていきます。そして、それらの解決策を地域の皆さんと共に考え、実践する学習を展開しています。

#### 1 「新型コロナウイルス感染症の影響」を考える

新型コロナウイルス感染症で影響を受けた、川俣シャモの需要拡大のために、川俣シャモを使った新メニューを提案しました。川俣町農業振興公社の皆さんの協力を得て、子どもたちのアイデアが採用され、道の駅のレストランでの提供が実現しました。



#### 2 「福田地区の活性化」を考える

福田地区の活性化のため、名所「駒ザクラ」の来桜者を増やせないかと考えました。地域の桜愛護会の皆さんへ呼びかけ、来桜者へのプレゼントやゆるキャラのデザインを考えました。



#### 3 「震災と原発事故からの復興」を考える

震災や原発事故からの復興のために、ポリエステル培地で花卉（かき）のアンズリウムを生産する皆さんの思いを県内外に発信してきました。今年は北海道の小学校とのオンライン交流学习を通し、アンズリウムのPR活動を行いました。また、町内の商業施設に自作のパンフレットやポスターを設置するなど、アンズリウムの需要拡大に寄与しました。



#### 4 「町のよりよい環境づくり」を考える

町生活環境係の皆さんの協力により、町の環境をよりよくするための提案文集を作成しました。提案文集は町庁舎内に展示され、子どもたちの思いが町内外の皆さんに届けられました。



### 取組の効果

- 地域の皆さんとの関わりが充実することで、自分たちが地域の中で見守られているという安心感やふるさとに対する愛着が形成されています。
- 自分たちが地域の一員として何ができるかを考え、学んだことを地域のために活かしていくという経験は、子どもたちの自己有用感や学びの意義を感じ取る上で有効に作用しています。
- 子どもたちと大人と一緒に学び合うことで、地域全体の教育力向上や活性化にも結び付いています。